

ispace、「HAKUTO-R」ミッション2 RESILIENCE ランダー レプリカが完成！

7月20日より月面体験イベント、月面ワンダー“フル”空間で初お披露目へ



「ワンダー“フル”空間」で初披露となった RESILIENCE ランダーのレプリカ

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード [9348](#)）は、民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」ミッション 2 で今冬に打ち上げを予定している RESILIENCE ランダー（月着陸船）を再現したレプリカの完成と、東京・日本橋で明日 7 月 20 日より開催される月面体験イベント「月面ワンダー」での初お披露目についてお知らせいたします。

現在、開発の佳境を迎えている RESILIENCE ランダーのフライトモデルは、重要な試験マイルストーンを着実にこなし、今冬の打ち上げに向けて準備を進めています。この度、本ランダーを再現したレプリカが一足先に完成し、月面体験イベント会場「ワンダー“フル”空間」（室町三井ホール&カンファレンス）で初展示されます。無限に広がる宇宙への好奇心が掻き立てられるワンダー“フル”な体験をぜひこの機会にお楽しみください。

記

- イベントタイトル：「月面ワンダー ～日本橋に月をつくってみた～」
- 会期：2024年7月20日（土）～9月1日（日）
- 会場：室町三井ホール&カンファレンス（コレド室町テラス 3F）  
+ 日本橋エリア内
- 開館時間：10時～19時
- 展示：RESILIENCE ランダーレプリカ※  
外形寸法：幅 2.6m、高さ 2.3m  
※MLI（多層断熱材）を模した素材で包むなど、  
実際に上げられるデザインにより近い模型となっております。
- 場所：コレド室町テラス 3F 「月面ワンダー“フル”空間」

以上

## ■ 株式会社 ispace (<https://ispace-inc.com/jpn/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの3拠点で活動し、現在約300名のスタッフが在籍。2010年に設立し、Google Lunar XPRIZEレースの最終選考に残った5チームのうちの1チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022年12月11日にはSpaceXのFalcon 9を使用し、同社初となるミッション1のランダーの打ち上げを完了。続く2024年冬iにミッション2の打ち上げを、2026年iiにミッション3、2027年にiiiミッション6の打ち上げを行う予定。

ミッション1の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション1マイルストーンの10段階の内 Success8まで成功を収めることができ、Success9中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション1で得られたデータやノウハウは、後続するミッション2へフィードバックされる予定。更にミッション3では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によってNASAが行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

---

i. 2024年7月時点の想定

ii. 2024年7月時点の想定

iii. 2024年7月時点の想定